

ヒロシマの心大きな声で

記者ノート

2020

10月25日午後、原爆ドーム前で開かれた市民集会。「唯一の戦争被爆国日本も批准を！」。核兵器禁止条約発効確定を祝う横断幕を掲げ、そこらで晴れやかな表情をみせた。湯崎英彦知事も松井一実・広島市長も、被爆者も若者たちも。

翌日、菅義偉首相の初の所信表明演説は、条約はおろか核軍縮にも触れなかった。約10日後、ニューヨークの国連本部で日本が提出

核禁条約発効確定



核兵器禁止条約の発効確定を祝う市民集会には、湯崎英彦知事や松井一実・広島市長も参加し市民らと笑顔をみせた＝10月25日、広島市中区

した核廃絶決議案は、今年8月6日の広島での安倍も条約に言及しなかった。菅首相(当時)も同じ。

退任時は「核兵器廃絶は私の信念」としつつ、戦争防止には抑止力が必要と訴えた。「唯一の戦争被爆国として」といういつものフレーズは忘れないのに、どうしてこうも、広島・長崎の思いと隔たりがあるのか。「ヒロシマの心」は東京には届いていない。広島からは、より強力な発信が必要なのだ、痛感した。「署名・批准を求める被爆者の思いを誠実に受け止めて(いたいただきたい)」7月、今年の平和宣言の骨子の中で日本政府に求める内容が明らかになったとき、私は首をかしげた。「被爆者だけでなく、広島市民の思いでは」と、日々取材で感じるからだ。被災者慰霊碑の中に名前が納められた声なき人々は、きつそう思っているだろう。そして、核兵器の法的禁止は、核兵器が今も1万3千発以上存在する世界に生きる多くの広島市民の訴えでもある。市民の頭上に原爆を落とされた8月6日、慰霊碑の前から世界に訴える平和宣言。「ヒロシマの心」を、ここで発信せずしていつ言っのか。条約は来月発効する。これを機に、広島足元を見つめ直し、死者の声なき声により一層耳を傾けよう。そして、日々の暮らしの中で、もっと政治を含めて核廃絶の道筋について語る。コロナ禍で「迎える平和」がままならない今こそ、もっと大きな声を上げよう。(宮崎園子)

最近の新聞記事より

中国 20.12.11

中旬にも定期抗原検査

福山市 福祉施設職員2600人見込む

福山市は、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い高齢者や障害者が入所する福祉施設の職員を対象にした定期の抗原検査が、市内でも早ければ今月中旬に始まると明らかにした。10日の市議会一般質問で枝広直幹市長が答えた。対象になるのは、市内の特別養護老人ホームなど64カ所と障害者支援施設など10カ所の職員。計約2600人を見込む。民間の検査会社が月1回、各施設に検査キットを持参し、職員の唾液を採取。容器を回収して検査する。陽性となった場合はPCR検査を実施し、確認する。抗原検査は来年3月までの予定。この日の一般質問で、枝

集団1件も発生。感染者は10日までに計57人になる。市は患者用の病床の空きが少なく、なっているなどとし、感染対策の徹底を呼び掛けている。(菅田直人)

1学級定員35人以下に

政府調整 小学校 40人以下から

政府は、公立小学校の1クラスの上限人数を現行の40人(1年生は35人)から35人に段階的に引き下げる方向で最終調整に入った。2025年度までに小学校の全学年で35人学級の実現を目指す。萩生田光一文科相と麻生太郎財務相が17日に協議し、年明けの通常国会での法改正を目指す。学級編成は、2011年度に小学1年生だけ35人以下となった。萩生田氏は来年度予算編成にあたり、新型コロナウイルスへの感染対策や、今年度中に小中学生に1人1台のパソコンやタブレット端末が配備される見込みであることから、小中学校の30人学級を求めていたが、財務省は強硬に反対。小学校に限って35人学級を実現することで折り合った。政府・与党関係者によると、来年度は小学2年生の学級編成を35人に引き下げ、その後、毎年1学年ずつ段階的に引き下げる方向だといっ。(伊藤和行)

20.12.11 朝日小学生新聞

天声 語

地球温暖化対策の国際ルール・パリ協定は今から約5年前の2015年12月12日、パリで開かれた国際会議で正式に決まりました。温室効果ガスの排出を今世紀後半に事実上ゼロにする画期的なものです。会議では女子高生セリナ・リームさんのうったえが注目を集めました。温暖化で海面が上昇して、しずんでしまうおそれがある太平洋の島国マーシャル諸島から来ました。彼女は島でとれるヤシの葉を示し、「このヤシの葉を私たちの子や孫にも見せたいのです。そして、あなたたちが小さな島と世界をどのように救ったのか、新しい物語を伝えてほしいのです」と世界のリーダーに行動を求めました。温室効果ガスの巨大排出国のアメリカは11月にこの協定からぬけたのですが、バイデン次期大統領は来年1月の就任後に再びもどる考えを示しました。世界で足並みをそろえ、本格的に排出削減を進める時代に入ります。